

# 始良・伊佐地域青少年育成だより

発行  
始良・伊佐地域青少年育成推進協議会  
第51号 令和5年7月

〒899-5212始良市加治木町諏訪町12  
始良・伊佐地域振興局総務企画課地域振興係  
TEL 0995-63-8109 FAX 0995-63-8108  
HP 鹿児島県始良・伊佐地域振興局 健康・福祉→検索

## 「令和5年度県青少年育成県民会議」総会開催

標記総会は、6月8日（木）に県青少年会館で感染対策をとりながら、開催となりました。県下各地から会員が集い、前年度の事業報告・収支決算及び本年度の事業計画・収支予算等を協議して、承認されました。関連行事として「かごしま子ども・若者総合相談センター」の事業報告がありました。その中で「若者にとって、学校や家庭以外で安心できる居場所（フリースペース・学習スペース）を設置することにより、子どもの社会的孤立の防止を図った」との報告もありました。

また、令和5年度青少年育成県民会議の表彰式が開催され、5名の個人と4団体が表彰され、始良・伊佐地域からは、個人の部 中村 學さん(始良市)、坂元 美子さん(湧水町)が表彰されました。おめでとうございます。

### 【青少年育成指導者の部】

氏名(市町村)	活動の主な内容
上舞啓一郎 (南さつま市)	平成17年から長年にわたり、青少年健全育成活動に携わり、学校外活動塾で塾長として、川遊びや野鳥の巣箱を製作・設置など、体験活動を実施されている。
眞鍋勝利(故人) (出水市)	平成2年に子ども会入会以降、長年にわたり青少年育成に尽力された。米東小PTA会長、青少年育成推進協議会を歴任され、安全パトロールを実施された。
中村 學 (始良市)	平成2年に建昌子ども会育成会長に就任され、スポーツ大会等の行事を企画運営し、校区青少年育成協議会の発展に寄与してこられた。
坂元美子 (湧水町)	更生保護女性会で長年活動され、子育て支援やボランティア活動、更生保護活動等に積極的に携わり、厚い信頼を得ている。あいさつ運動等にも参加された。
松山みち子 (鹿屋市)	環境問題を様々な視点から、各学校にエコ活動・環境教育の指導を行ってこられた。30年以上中学生に弓道の指導や声かけ見守り等に取り組みされた。



中村 學さん



坂元美子さん



### 【青少年団体・グループの部】

団体名(市町村)	活動の主な内容
市来若者隊 (いちき串木野市)	若者が地域活性化に寄与する目的で発足し、青少年の健全育成に取り組んでいる。海岸清掃活動や主催事業として、ビーチボール大会等を開催したり、宿泊体験活動を羽島青年学級と共催し、意識の高揚、健全育成に尽力している。
日本宇宙少年団 南種子町宇宙科学分団 (南種子町)	宇宙・科学への探究心を育む郷土学習や農業体験、次世代を担う健全な青少年を育成するために設立されている。小学生から高校生までの異年齢で構成されている。人材育成の場として重要な役割を果たしている。

### 【青少年育成団体の部】

団体名(市町村)	活動の主な内容
王子町鉦踊り・ 銭太鼓保存会 (鹿屋市)	青年団を中心に集落ぐるみで継承されてきた伝統芸能である。伝統芸能の鉦踊り、銭太鼓の保存継承を目的に小学生から大人まで幅広い年代層で活動し、青少年の健全育成、後継者の育成等に取り組んでいる。
奄美市更生保護女性会 (奄美市)	行政や関係機関団体と連携し、更生保護活動はもとより、青少年育成・非行防止・子育て支援活動を実践している。登校時に「愛の声かけ運動」への参加協力や昔遊び等の伝統継承、絵本の読み聞かせ等に取り組んでいる。



## 「令和5年度始良・伊佐地域 青少年育成推進協議会」総会 7月5日開催



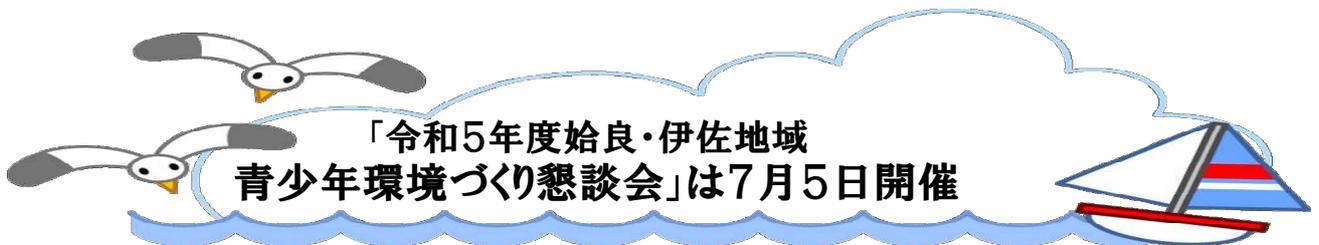
標記総会は、本年度も新型コロナウイルス感染対策を講じながらの開催になりました。青少年育成市町民会議会長（各市町長）をはじめ、教育事務所長や警察署、各市町社会福祉協議会、PTA連絡協議会等関係団体の代表、青少年育成コーディネーター、地域振興局長等に出席していただき、協議いたしました。

総会資料には、令和4年度事業活動報告や令和5年度活動方針及び事業計画案、「郷土に学び・育む青少年運動」に関する管内4市町の取組状況が掲載されています。さらに、県民運動に関する参考資料等も掲載されています。

本年度も「郷土に学び・育む青少年運動」を推進し、昨年度より大きな成果を収めるため、「かごしま地域塾」や「少年の主張」、「家庭の日」作品募集など多くの事業を一層拡充し、積極的に推進してまいります。会員の皆様には、送付された資料を熟読していただき、昨年度同様のお力添えを宜しくお願いします。



「第45回少年の主張鹿児島県大会」作文一次審査の結果  
有村 好加さん（加治木中2年）「ふわふわ言葉で楽しい人生を」  
が入選しました。本選は8月6日開催予定、出場おめでとう！！



## 「令和5年度始良・伊佐地域 青少年環境づくり懇談会」は7月5日開催

標記の懇談会を7月5日に開催しました。青少年健全育成活動の拡充を図るためには、まず、指導者の方々に時代の流れに即応した新たな指導方法等を学んでいただき、指導者として一層の資質向上を図るために開催するものです。関係者の皆様は奮って御参加・仲間への声かけにお力添えください。（詳細は次号に掲載します。）

### 青少年の健全育成のためにみんなで定着させましょう！！

毎月の第3土曜日は、「青少年育成の日」

毎月の第3日曜日は、「家庭の日」

毎月の19日は、「育児の日」「食育の日」

★管内の小・中・高等学校では、職員室の行事黒板に毎月明記し、

加えて、該当週の金曜日に、各学級での呼びかけ指導の督励に努めています。

さらに、家庭の日は「サンデーファミリアン（家族揃っての食事会）」の実施を目指しています。



# 令和5年春の「故郷に学び・育む青少年運動」の取組から

## 【始良市の取組報告】

始良校区コミュニティ協議会では、健康づくりと地域の様子を知り、地域の方々とのふれあいと世代間の交流を目的として、ウォーキング大会を実施した。

始良小校区にウォーキングコースを3コース設定した。

今回は、建昌城麓コース（4.7km）で実施した。

（始良小→北斗神碑→大文字池公園→大文字池→島津季久供養碑→南方神社→桜島サービスエリア→田の神→始良小）

コロナ感染防止策として検温、体調チェック、マスク着用で実施した。

大文字池公園の雲門寺の門にあったとされる首が破損した仁王像、島津季久の供養碑、二番目に古いとされる田の神、南方神社などを知ることができた。

当日は雨だったが、「いろんなところを知ることができて楽しかった」とか「きつかったけど、また次のウォーキング大会には参加したい」との意見が寄せられた。

子ども達がイベントに参加した場合、感想文を書いてもらうことにしており、一年間のイベント参加の感想文をまとめて冊子にし、子ども達に届けて皆さんに喜ばれた。



## 【伊佐市の取組報告】

伊佐市立田中小学校では、校区内を家族らと散歩することを通して、春の訪れを味わったり、家族や校区民とともに触れ合ったりすることを目的に実施した。田中ふるさと館から、薬師神社、田中豊受姫神社を経由して田中ふるさと館に帰る約7.2kmを歩いた。



## 【湧水町の取組報告】

児童14人、教職員5人が参加して、危険予測能力（KYT）の指導を受けた。失敗を恐れず人災を未然に防止することを学ぶと共に、様々な冒険への挑戦を促す目的で実施した。

様々な作業や活動中における危機管理を学んだのち、グループに分かれ、絵図内の危険予測を話し合い、どのような行動がどのような事故につながるかについて、意見を出し合い、最後に講師の植林伸洋さんから指導を受けた。



## 【春の運動期間における各市町の主な取組】

市町名	主 な 取 組 事 項
霧島市	○子ども会育成連絡協議会等の年度末、年度初めの話し合い ○霧島市立青少年育成センター指導員及び補導員による街頭補導
伊佐市	○校区見守り隊へのお礼の会 ○春の交通安全運動の推進 ○PTA奉仕作業 ○PTA、コミュニティ協議会、民生委員によるあいさつ運動の実施 ○朝の朗読放送の実施 ○伊佐さわやかあいさつ運動 ○ウォークin田中 ○高熊山清掃 ○防犯グランドゴルフ大会 ○学校保健委員会SNSに関する講演会
始良市	○市青少年育成市民会議で作成したインターネット利用に関するチラシの配布 ○地域が育む「あいらっ子」あいさつ運動強調月間 ○街頭補導活動 ○家庭教育ラジオ「まあるくなった」
湧水町	○町民とあいさつ運動を実施し、登下校の見守り ○パトロール強化 ○スマートフォン等の利用について呼びかけ ○校外生活指導連絡会との連携

## 夏の「郷土に学び育む青少年運動」期間中!!

7月1日（土）から8月31日（木）までが夏の「郷土に学び・育む青少年運動」の実施期間となります。各市町教育委員会や青少年育成市町民会議等の計画で、色々な活動等が展開されると思います。関係者の皆様や団体のお力添え、御協力をよろしくお願い致します!

# 令和5年度ニッセイ財団児童・少年の健全育成助成団体紹介

ニッセイ財団は、毎年「広がり、元気っ子活動」として、地域において定期的・継続的に実施している、子どもたち自身が主人公となって行う自然体験・仲間づくりや文化の伝承活動、地域の子育て支援活動に対して、都道府県知事の推薦に基づき助成し、活動の輪を広げています。令和5年度の助成団体に霧島市のスポーツクラブ「宮内ソフトボールスポーツ少年団」が決定しましたので紹介します。

## 「宮内ソフトボールスポーツ少年団」

- (1) 代表者 久保 諒眞  
(2) 設立年月 昭和53年4月  
(3) 団員数  
小学生 25人 中学生 0人  
高校生 0人 指導者 3人  
計 28人



(4) 活動の趣旨

ソフトボールの楽しさや、試合に勝つ喜びを知ってもらうとともに、団体活動や異年齢交流を通じて、身体だけでなく、精神面も成長してもらうよう、保護者やOBも一緒になって活動に参加しています。

(5) 主な活動（令和4年度）

【練習】

日程：月、水、金（第三のみ）、土（第三除く）

場所：宮内小学校校庭

【試合・地域活動等】

- 4月 全日本・西日本・全九州大会始良地区予選  
5月 隼人地区町大会（年3回）  
6月 始良地区大会（年4回）  
7月 県競技別交歓大会  
8月 霧島神宮旗  
9月 スポーツテスト  
10月 隼人浜下り  
宮内杯争奪ソフトボール大会  
12月 赤い羽根共同募金  
2月 霧島市スポーツ少年団フェスティバル  
鹿児島県ちびっ子ソフトボール大会



(6) お礼のこたば

【育成会長 加治木】

学校グラウンドにはライトの設備が無いため、暗くなるのが早い冬期練習は保護者としても不安があり、練習内容を制限しなければなりませんでしたが、本当にありがとうございました。

【キャプテン 東膳侑吾】

助成していただきありがとうございました。  
今までは暗くなるまでの限られた時間でしか練習できませんでしたが、これからは気にせずたくさん練習をし、力をつけていきたいと思います。  
チームみんなで大切に使っていきます。



「家庭の日」の絵画、ポスター、標語を応募しよう

応募期間は9月上旬。学校から教育委員会へ。  
児童生徒の皆さん、絵画やポスター、標語を応募しませんか。詳しくは、学校の先生に尋ねてください。

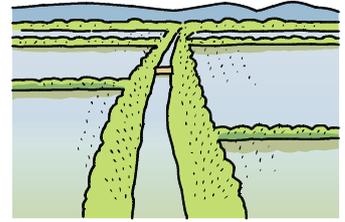


## 平出水校区コミュニティ協議会 ～芋植え交流会と田植え交流会～

平出水校区コミュニティ協議会（西菌明夫会長）では、子どもたちに体験活動等を通して年間、楽しいイベントを計画・実施しています。

今年の「芋植え交流会」は6月1日（木）授業の一環で実施されました。芋の苗は、大隅地域の農家さんまで前日出向いて約4,000本取りに行き、地域の方々の指導のもと子どもたちが、収穫する日を楽しみにしながら、苗を一本ずつ植えていきました。また、6月24日（土）は、「田植え交流会」を開催しました。今年の「田植え交流会」は、県の事業の一環の、鹿児島大学農学部との連携事業で学生が15人参加し、平出水の子どもたちと一緒に体験しました。小学生に、大学生ひとりひとりがつき、いろいろなことを質問して、また、お昼は、地域の方々が準備された豚汁、伊佐米のおにぎりを、みんなで食べ、その後、かき氷や、ポップコーンを食べて楽しい時間を過ごしました。

今後は稲刈り交流会や芋掘り交流会、そば打ち交流会など地域にある行事等を行っていく予定です。



## 夢をつなぐなぎさっ子になろう ～総合的な学習の時間～

6月28日（水）、始良市立松原なぎさ小学校の5年生児童（109人）が総合的な学習の時間のテーマ「夢をつなぐなぎさっ子になろう」の活動の一環として、地域に伝わる文化に係る体験学習を行いました。

SSVC+（スクール・サポート・ボランティア・コーディネーター・プラス）のコーディネーターに御協力いただき、クモ合戦、帖佐人形、和紙づくり等ふるさとの伝統的な文化に触れる機会を得ることができました。

### 【児童の感想】

- 初めてクモ合戦を見ました。クモの動きがすばやくてびっくりしました。クモ合戦の歴史についても学ぶことができよかったです。
- 紙すきをして自分だけの和紙づくりを行いました。いつも見ている紙とちがってでこぼこしている紙になったけど、とてもすてきな体験ができました。

この学びを生かして地域への理解を一層深め、さらには学校から地域へ情報発信していけるよう生かしていきたいと思っております。参加していただいた講師の先生方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 地域に感謝

### 卒業前のSDGsの活動

霧島市立牧園中学校では、3月の卒業式前に生徒が、お世話になった「地域に感謝するSDGsの活動」を過去2年間実施しています。

中学3年生が公立高等学校入学者選抜学力検査を終えた後、卒業式までの時間を利用して、全校生徒、教職員で校内外の清掃ボランティアを実施しています。令和3年度は、道路のカーブミラーのガラスを磨いたり、プランターに植えた花を学校医に届けたりしました。令和4年度は新聞紙でエコバックを作成し地域の商業施設へ届けたり、牧園総合支所の公園の清掃及び草取り等を行ったりしました。

3月のまだ気温の低いなか、生徒は、自分たちを応援してくれた地域に感謝する活動を行いました。ふるさとがきれいになっていく様子を感じたり、地域の方々からお礼の言葉をいただいたりして、嬉しそうでした。これからも、自分たちが住んでいるふるさとを大切にしていきたいと話していました。



## 出水期に合わせた防災教室

### ~Pepper君がやってきた~

6月16日（金）に湧水町立栗野小学校では、湧水町役場防災担当とソフトバンク株式会社が連携して、防災教室が実施されました。講師を務めたのは「Pepper君」。

5年生29人は、Pepper君を見て大興奮。そんな中で授業開始。音声に合わせて、身振り手振りを交えて「防災」について説明する姿に子どもたちは釘付けでした。

子どもたちは、Pepper先生と楽しく学んでいました。

中村莉衣奈：災害はとても怖いことがわかった。積乱雲が近づいてくる3つのサインが分かった。大雨が降ってきて、10分くらいでPepper君の高さまで水が増えることが分かった。

蜂須賀美結：災害はとてもこわい。避難警戒レベルの見方や大雨の3つのサインを知ることができた。また、日頃から災害に備えた準備の大切さも分かった。

